

# チモシー新品種「ホライズン」の特性と利用法

## 1. はじめに

当社育成のチモシー新品種「ホライズン(早生)」は平成14年に北海道優良品種に認定され、今春から弊社販売の早生品種「ホクセイ」の後継品種として本格販売が始まりました。本稿では「ホライズン」の特性と利用法についてご紹介したいと思います。

## 2. ホライズンの特性と利用方法

### 1) ホライズンの出穂特性

チモシー各品種の出穂始の目安を図1に示しました。ホライズンの出穂始はノサップより2日、オーロラより1日、ホクセイより4日程度早い早生品種です。ホライズンは出穂がやや早い感じを受けますが、図1に示したとおり、これまで販売してきたホクセイ(早生品種)とホクエイ(中生品種)の組合せよりも出穂に開きができたため、よりゆとりのあるスケジュールで収穫できるものと思われます。ホライズンの出穂始はクンプウより約1週間遅く、ホクエイやアッケシよりも約1週間早く、ちょうど極早生品種と中生品種の中間に出穂始をむかえます。

### 2) ホライズンの収量性

ホライズンは出穂が早いいため、1番草の収量性について心配される声も聞かれますが、1番草収量はノサップとほぼ同程度であることが全道の試験で確認されております(図2)。これら一連の試験では特に根釧農試の1番草においてノサップ対比94という数字でしたが、その後、昨年から今年にかけて弊社別海試験地において生産力検定試験を行ったところ、ノサップとほぼ同等の1番草収量が得られました(図3)。比較的気温が高かった昨年と冷涼多湿であった今年にかけて安定した収量成績が得られ、また、見た目の生育についても特に問題がなかったことから、弊社では根釧地域の1番草が特に低収になることはないかと判断しております。

ホライズンは2番草の再生力が良好であり、出穂茎が多く、多収になるのが大きな特徴です(図4)。特に更新後2~3年目の草地やデントコーンと輪作を行っ

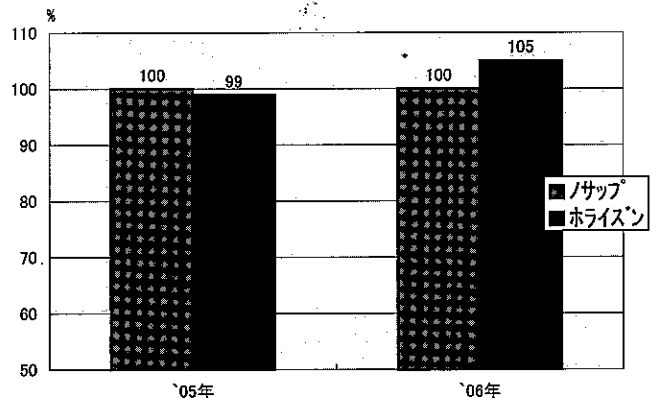


図3. 別海町におけるホライズンの1番草乾物収量(雪印種苗(株)別海試験地)

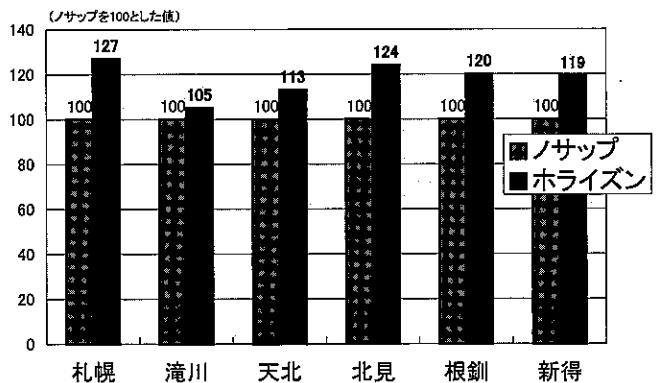


図4. 2番草乾物収量(播種2年目と3年目の合計)

ている肥沃な畑では、2番草の出穂茎が非常に多くみられ、極多収となります。

### 3) ホライズンの利用方法

ホライズンは再生力が良好なことから、クローバ類との混播だけでなく、夏季に生育が旺盛となるアルファルファとの混播にも適しております。ここ数年、越冬性が優れるアルファルファの品種が育成されたことや、ギシギシ対策として除草剤「ハーモニー」が普及してきたこともあり、チモシーとアルファルファの混播利用が増えてきました。弊社では越冬性、永続性が優れるアルファルファ新品種「ケレス」の本格販売を開始し、単播もしくはホライズンとの混播利用により好評を得ております(ケレスについては雪たねニュース7月号を参照)。除草剤が利用でき、永続性、収量性が優れる組合せとして、ホライズンとケレスの混播の今後の普及を期待しております。また、これらの品種をはじめとした弊社育成品種が良質多収を目指した草作りに貢献できればと思っております。

(北海道研究農場 谷津)

6/5	6/10	6/15	6/20	6/25
クンプウ(6/7)	ホライズン(6/13) オーロラ(6/14) ノサップ(6/15) ホクセイ(6/17)	アッケシ(6/20) ホクエイ(6/21) キリタツ(6/23)	シリウス(6/25) ホクシュウ(6/26)	
<極早生>	<早生>	<中生>	<晩生>	

図1. チモシー各品種の出穂始めの目安

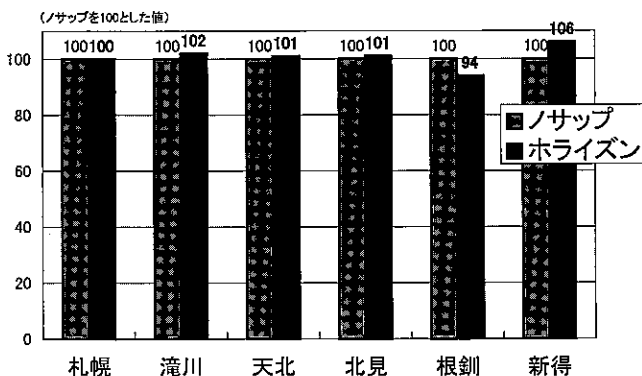


図2. 1番草乾物収量(播種2年目と3年目の合計)

## 雪印種苗株式会社

編集発行人 長尾 湊  
 本社004-8531札幌市厚別区上野幌1条5丁目1番8号  
 TEL (011)891-5911  
 FAX (011)891-5774